

第1回 北大阪急行線延伸関係者会議 幹事会 議事要旨

日時：平成 22 年 5 月 12 日（水） 10：30～12：00

会場：マッセ OSAKA 第 3 研修室（大阪府庁新別館南館 5 階）

出席者：別紙のとおり

内容： 1．北大阪急行線延伸関係者会議の設立について
2．これまでの検討内容について
3．今後の進め方について

【伊藤副市長挨拶（会議趣旨説明）】

- 北大阪急行線の延伸は、全市民を対象にした説明会でのアンケートでは、約 78% の市民が延伸を望んでいるという結果。
- 平成 22 年度施政方針の中でも、『平成 30 年（2018 年）という開通目標に向けて、実際の決着は、この 1～2 年ほどが正念場と感じている』と明記。
- 倉田市長はブログで、北急延伸の必要性等を広く市民に発信しており、延伸に対する市民の気運も高まっているところ。
- 北大阪急行線延伸関係者会議は、平成 20、21 年度に、北大阪急行線延伸検討委員会が策定した整備計画案について、さらに検討を進め、事業実現に向けた合意形成を図ることが目的。
- 幹事会は、今後トップによる関係者会議を開催するための、事務レベルの検討を深める場。

【主な意見】

1．北大阪急行線延伸関係者会議の設立について

特になし

2．これまでの検討内容について

特になし

3．今後の進め方について

（広域的効果 等）

第 2 回以降のワーキングで広域的効果の把握等を行う予定となっているが、第 1 回ワーキングで、定量的な根拠も含め広域的効果の把握、検討をお願いしたい。また、事業スキーム等の方向性も、そのワーキングの中で検討をお願いしたい。府と市が連携し、検討を進める。

（需要予測・収支採算性）

阪急グループとしては、関係者会議（キックオフ）の開催までに、グループのリスクの把握を終えておく必要がある。

市と阪急電鉄、北大阪急行電鉄が連携し、需要予測の精査を進める。

（関係者会議のスケジュール）

関係者会議の検討フローは、鉄道整備の事業フローとしては良い。
事業の全体スケジュールの提示とともに、まちづくり（都市計画）のフローの提示もお願いしたい。

事業化合意までには、（まちづくりを含めた全体）スケジュールを確立する必要がある。（検討を進める。）

関係者による年度内の基本協定締結に向け、関係者会議（キックオフ）を7月に開催したい。（事務局）

【決定（承認）事項】

関係者会議設立（規約は次回幹事会で決定）

幹事会設置要綱（平成 22 年 5 月 12 日付け）

次回幹事会までにワーキングで検討する事項

- ・ 需要予測（精査）、広域的効果、スケジュール、事業スキームの方向性

以上